

『今がその時！』 ヨハネの福音書 5章24～30節 2017.7.30(聖日礼拝説教より)

『…「わたしは、恵みの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。」確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。』

Ⅱ コリント 6 章 2 節

① 死から命へ(24節)…聖書が言う「死人」とは、『死』の支配を受けている人のこと！その原因は、『自分の罪過と罪との中に死んだ(エペソ 2:1)』から！放蕩息子(ルカ 15:11～32)は、放蕩三昧後に帰省した時、父親は大歓迎する『この息子は、死んでいたのが生き返った(24)』と。この父親は神を、息子は私たち罪人を表わす！父なる神との関係が切れた時、どんなに幸せな人生でも「死んで」おり、創り主との本来の関係が回復すれば、人は「生きる」！24 節『まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っている』。★たとえ試練の連続のような人生でも、神の御声を聞いて導かれる人生は、安心と慰め、折になかった助けと守りを実感する。『死からいのちへ移る』最大の転機は、『我に返る時』！人生って何？これから先どうなる？…そんな時、主は、あなたに呼びかける！詩篇 50:15 『苦難の日にはわたしを呼べ！わたしはあなたを助け出そう』。

② 神の子の声を聞く…沢山の神様がいる日本では、問うべき方に迷う!?しかし聖書は、神はおひとりだと言う！その方が言われる『善を行った者は、よみがえっていのちを受け、悪を行った者は、よみがえってさばきを受ける(29)』と。善悪の基準を持つ方を悲しまれることを「言ったり、したり、考えたりすること」が「罪」！全ての人は、創り主から離れて悪を行ない、創り主の豊かな御愛に触れて、自分の冷たさ、わがままさ、心の汚れや醜くさ…に気づき、その時に御声を聞く『…御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠の命を持つ 3:16)』。

③ 聞くべき時は「今」…『あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい(ヨハネ 14:1)』。私たちが「信じる」のは、「神の存在」でも、「キリストが実在性」でもない！『御子が、私の罪のために十字架で身代わりに死んでくださったこと』を信じる(Ⅰ コリント 15:3～4)！昨日は過ぎ、明日はまだ存在していない！確かなのは「今」！神は言われます。『確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。』

★私達の人生に、いずれまた、そのうちに…はない！「今」、私に、あなたに語りかけておられるお方を「今」信じて、御名を呼びたい！聖書を通して、あの方の語りかけを「今日」聞き従いたい！